

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14
公立紀南病院組合	紀南こころの医療センター	15

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名					
病院名 こころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,637 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄  
指定病院の状況欄  
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	50.8	52.5	52.1
感染症	-	-	-	-
計	300	50.8	52.5	52.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	922,584
決算規模(千円)	637,231,552
標準財政規模(千円)	305,574,736
財政力指数	0.31774
経常収支比率(%)	93.0
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.4
将来負担比率(%)	200.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,302,628			
1 経常収益	2,302,628			
(1) 医業収益	1,344,878			
(うち修正医業収益)	1,250,483			
入院収益	1,079,170			
外来収益	162,336			
診療収入計	1,241,506			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,372			
(うち他会計負担金)	94,395			
(2) 医業外収益	957,750			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	607,164			
(うち長期前受金戻入)	22,596			
(うち資本費繰入収益)	322,303			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,094,465			
2 経常費用	2,094,465			
(1) 医業費用	2,035,301			
職員給与費	1,391,209	103.4	59.4	105.1
材料費	102,264	7.6	26.1	9.8
(うち薬品費)	70,095	5.2	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,144	2.2	11.8	1.6
減価償却費	165,119	12.3	8.7	12.8
経費	370,688	27.6	22.1	35.3
(うち委託料)	222,107	16.5	11.7	17.0
研究研修費	2,063			
資産減耗費	3,958			
(2) 医業外費用	59,164			
(うち支払利息)	48,028	3.6	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	208,163			
純損益	208,163			
累積欠損金	201,481			
経常収支比率	109.9		103.3	101.8
医業収支比率	66.1		85.5	61.1
修正医業収支比率	61.4		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	30.5		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	52.2		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	30.5		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	76.4		91.9	68.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,520,515
1 固定資産	3,157,071
(1) 有形固定資産	3,156,936
(2) 無形固定資産	135
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	363,444
(1) 現金及び預金	123,392
(2) 未収金及び未収収益	230,486
(3) 貸倒引当金( )	9,441
(4) 貯蔵品	19,007
3 繰延資産	-
負債合計	3,655,284
1 固定負債	2,734,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,734,004
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	599,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	400,430
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	86,126
(6) リース債務	1,983
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,831
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	321,754
(1) 長期前受金	898,529
(2) 長期前受金収益化累計額( )	576,775
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-134,769
1 資本金	64,212
2 剰余金	-198,981
(1) 資本剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-201,481
負債・資本合計	3,520,515
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	134,769
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	679,092	701,559
資本勘定繰入	229,045	352,255
計	908,137	1,053,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	海南市				
病院名	海南医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	150	69.5	70.0	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	69.5	70.0	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	11.8	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	48,369	
決算規模(千円)	26,089,863	
標準財政規模(千円)	14,178,193	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	75.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,314,339			
1 経常収益	4,314,339			
(1) 医業収益	3,656,991			
(うち修正医業収益)	3,455,209			
入院収益	2,311,355			
外来収益	979,678			
診療収入計	3,291,033			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	365,958			
(うち他会計負担金)	201,782			
(2) 医業外収益	657,348			
(うち国・都道府県補助金)	331,761			
(うち他会計補助・負担金)	232,880			
(うち長期前受金戻入)	57,359			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,978,920			
2 経常費用	3,978,920			
(1) 医業費用	3,770,141			
職員給与費	2,136,292	58.4	59.4	67.0
材料費	772,730	21.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	474,492	13.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	298,238	8.2	11.8	9.4
減価償却費	266,888	7.3	8.7	10.2
経費	585,611	16.0	22.1	28.8
(うち委託料)	236,566	6.5	11.7	13.2
研究研修費	6,853			
資産減耗費	1,767			
(2) 医業外費用	208,779			
(うち支払利息)	28,362	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	335,419			
純損益	335,419			
累積欠損金	3,280,354			
経常収支比率	108.4		103.3	104.5
医業収支比率	97.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	91.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	97.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,231,852
1 固定資産	3,396,382
(1) 有形固定資産	3,287,811
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	108,203
2 流動資産	1,835,470
(1) 現金及び預金	820,244
(2) 未収金及び未収収益	983,389
(3) 貸倒引当金( )	1,873
(4) 貯蔵品	33,280
3 繰延資産	-
負債合計	3,825,737
1 固定負債	2,384,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,773,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	183,336
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	427,840
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	590,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	16,666
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,021
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	177,932
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	850,173
(1) 長期前受金	1,323,690
(2) 長期前受金収益化累計額( )	473,517
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,406,115
1 資本金	4,667,643
2 剰余金	-3,261,528
(1) 資本剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-3,280,354
負債・資本合計	5,231,852
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	434,662	434,662
資本勘定繰入	120,866	120,866
計	555,528	555,528

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	橋本市		
病院名	橋本市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨がへ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	73.5	78.8	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	73.5	78.8	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.7	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	60,818	
決算規模(千円)	29,394,881	
標準財政規模(千円)	16,587,511	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	49.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,562,419			
1 経常収益	8,312,763			
(1) 医業収益	6,668,352			
(うち修正医業収益)	6,570,980			
入院収益	4,670,803			
外来収益	1,732,357			
診療収入計	6,403,160			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	265,192			
(うち他会計負担金)	97,372			
(2) 医業外収益	1,644,411			
(うち国・都道府県補助金)	1,069,806			
(うち他会計補助・負担金)	330,721			
(うち長期前受金戻入)	132,849			
(うち資本費繰入収益)	47,205			
(3) 特別利益	249,656			
(うち他会計繰入金)	8			
総費用	8,171,537			
2 経常費用	8,080,046			
(1) 医業費用	7,607,713			
職員給与費	4,170,760	62.5	59.4	59.0
材料費	1,388,304	20.8	26.1	25.6
(うち薬品費)	660,097	9.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	728,207	10.9	11.8	11.2
減価償却費	403,994	6.1	8.7	8.6
経費	1,613,544	24.2	22.1	21.3
(うち委託料)	726,668	10.9	11.7	11.6
研究研修費	11,498			
資産減耗費	19,613			
(2) 医業外費用	472,333			
(うち支払利息)	115,024	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	91,491			
損益	232,717			
純損益	390,882			
累積欠損金	1,745,595			
経常収支比率	102.9		103.3	104.8
医業収支比率	87.7		85.5	87.0
修正医業収支比率	86.4		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	97.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,539,709
1 固定資産	6,961,833
(1) 有形固定資産	6,867,956
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	93,877
2 流動資産	3,577,876
(1) 現金及び預金	1,875,552
(2) 未収金及び未収収益	1,671,874
(3) 貸倒引当金( )	809
(4) 貯蔵品	31,259
3 繰延資産	-
負債合計	8,570,255
1 固定負債	7,082,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,388,187
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	693,943
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,370,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	708,253
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	239,229
(6) リ一ス債務	501
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	394,055
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,343
(1) 長期前受金	1,896,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,778,711
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,969,454
1 資本金	3,077,516
2 剰余金	-1,108,062
(1) 資本剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-1,745,095
負債・資本合計	10,539,709
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	712,684	428,101
資本勘定繰入	362,196	361,690
計	1,074,880	789,791

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	有田市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,675 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	153	47.5	56.0	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	158.5	-	7.7
計	157	50.4	54.6	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	20.9	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	26,538	
決算規模(千円)	25,652,518	
標準財政規模(千円)	7,465,986	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,480,955			
1 経常収益	3,180,955			
(1) 医業収益	1,997,304			
(うち修正医業収益)	1,899,433			
入院収益	1,127,061			
外来収益	688,820			
診療収入計	1,815,881			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	181,423			
(うち他会計負担金)	97,871			
(2) 医業外収益	1,183,651			
(うち国・都道府県補助金)	736,970			
(うち他会計補助・負担金)	309,301			
(うち長期前受金戻入)	11,503			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	300,000			
(うち他会計繰入金)	300,000			
総費用	4,317,562			
2 経常費用	4,317,562			
(1) 医業費用	4,115,712			
職員給与費	2,881,076	144.2	59.4	67.0
材料費	316,676	15.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	102,717	5.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	210,501	10.5	11.8	9.4
減価償却費	143,001	7.2	8.7	10.2
経費	769,241	38.5	22.1	28.8
(うち委託料)	343,647	17.2	11.7	13.2
研究研修費	5,718			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	201,850			
(うち支払利息)	8,822	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,136,607			
純損益	-836,607			
累積欠損金	3,991,607			
経常収支比率	73.7		103.3	104.5
医業収支比率	48.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	46.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	64.2		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,981,531
1 固定資産	2,230,250
(1) 有形固定資産	2,199,999
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	29,949
2 流動資産	1,751,281
(1) 現金及び預金	1,177,116
(2) 未収金及び未収収益	568,861
(3) 貸倒引当金( )	10,149
(4) 貯蔵品	13,325
3 繰延資産	-
負債合計	2,691,249
1 固定負債	656,797
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	120,091
(2) その他の企業債	520,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	16,706
2 流動負債	1,878,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,872
(2) その他の企業債	130,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	102,072
(6) リ 一 負債	26,377
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,432,474
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	155,980
(1) 長期前受金	364,637
(2) 長期前受金収益化累計額( )	208,657
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,290,282
1 資本金	5,062,667
2 剰余金	-3,772,385
(1) 資本剰余金	219,222
(2) 利益剰余金	-3,991,607
負債・資本合計	3,981,531
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	407,172	707,172
資本勘定繰入	123,141	123,141
計	530,313	830,313

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	199.8
健全化法上の資金不足額(千円)	246,285
健全化法上の資金不足比率(%)	12.3
地財法上の資金不足額(千円)	510,319
地財法上の資金不足比率(%)	25.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	新宮市		
病院名	新宮市立医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,878 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	281	61.3	61.0	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	13.4	17.1	4.2
計	285	60.6	60.4	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.6	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	27,171	
決算規模(千円)	19,060,712	
標準財政規模(千円)	9,824,033	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,252,758			
1 経常収益	7,189,157			
(1) 医業収益	5,513,313			
(うち修正医業収益)	5,444,683			
入院収益	3,475,907			
外来収益	1,819,071			
診療収入計	5,294,978			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	218,335			
(うち他会計負担金)	68,630			
(2) 医業外収益	1,675,844			
(うち国・都道府県補助金)	1,064,873			
(うち他会計補助・負担金)	286,674			
(うち長期前受金戻入)	249,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,601			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,988,492			
2 経常費用	6,988,193			
(1) 医業費用	6,578,538			
職員給与費	3,318,341	60.2	59.4	63.7
材料費	1,408,621	25.5	26.1	21.0
(うち薬品費)	643,874	11.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	762,940	13.8	11.8	10.1
減価償却費	407,320	7.4	8.7	9.7
経費	1,421,487	25.8	22.1	28.9
(うち委託料)	747,385	13.6	11.7	13.6
研究研修費	15,227			
資産減耗費	7,542			
(2) 医業外費用	409,655			
(うち支払利息)	68,854	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	299			
経常損益	200,964			
純損益	264,266			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.9		103.3	101.8
医業収支比率	83.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	4.9		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	97.8		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,333,766
1 固定資産	7,965,621
(1) 有形固定資産	7,949,401
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	15,600
2 流動資産	3,368,145
(1) 現金及び預金	1,487,468
(2) 未収金及び未収収益	1,823,301
(3) 貸倒引当金( )	6,660
(4) 貯蔵品	49,087
3 繰延資産	-
負債合計	7,874,059
1 固定負債	5,002,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,183,978
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	819,003
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,626,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	868,976
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	180,198
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	545,819
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,245,040
(1) 長期前受金	6,366,891
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,121,851
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,459,707
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	1,491,913
(1) 資本金剰余金	907,792
(2) 利益剰余金	584,121
負債・資本合計	11,333,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	885,926	355,304
資本勘定繰入	430,322	430,723
計	1,316,248	786,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	高野町		
病院名	高野山病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,970
決算規模(千円)	5,523,590
標準財政規模(千円)	2,319,251
財政力指数	0.20
経常収支比率(%)	85.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	409			
1 経常収益	409			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	409			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	409			
2 経常費用	409			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	409			
(うち支払利息)	409	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	10,122			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	すさみ町				
病院名	国保すさみ病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,056 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	48	19.3	24.1	29.7
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	19.3	24.1	29.7
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	26.8	37.4

設立団体の状況		
人口(人)	3,685	
決算規模(千円)	4,744,471	
標準財政規模(千円)	2,665,041	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	615,250			
1 経常収益	615,250			
(1) 医業収益	383,370			
(うち修正医業収益)	343,682			
入院収益	75,206			
外来収益	244,387			
診療収入計	319,593			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	63,777			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	231,880			
(うち国・都道府県補助金)	4,856			
(うち他会計補助・負担金)	209,012			
(うち長期前受金戻入)	13,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	702,624			
2 経常費用	702,624			
(1) 医業費用	619,025			
職員給与費	381,097	99.4	59.4	76.5
材料費	116,811	30.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	99,835	26.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,044	3.7	11.8	6.4
減価償却費	23,851	6.2	8.7	11.5
経費	96,414	25.1	22.1	32.6
(うち委託料)	39,109	10.2	11.7	14.8
研究研修費	852			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	83,599			
(うち支払利息)	454	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-87,374		
	純損益	-87,374		
累積欠損金	730,563			
経常収支比率	87.6		103.3	101.5
医業収支比率	61.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	55.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	64.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	40.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	52.2		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,194,141
1 固定資産	1,064,610
(1) 有形固定資産	1,062,993
(2) 無形固定資産	1,617
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	129,531
(1) 現金及び預金	44,061
(2) 未収金及び未収収益	78,651
(3) 貸倒引当金( )	575
(4) 貯蔵品	7,394
3 繰延資産	-
負債合計	1,421,719
1 固定負債	1,174,036
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	793,121
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	380,915
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	71,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,904
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,867
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,387
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,522
(1) 長期前受金	385,404
(2) 長期前受金収益化累計額( )	208,882
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-227,578
1 資本金	374,053
2 剰余金	-601,631
(1) 資本金剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-720,563
負債・資本合計	1,194,141
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	227,578
資本不足額(繰延収益控除後)( )	51,056
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,173	248,700
資本勘定繰入	8,833	16,300
計	330,006	265,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	那智勝浦町				
病院名	温泉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	81.6	81.2	90.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	81.6	81.2	90.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	18.5	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	14,137	
決算規模(千円)	10,088,680	
標準財政規模(千円)	5,457,966	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	21.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,620,143			
1 経常収益	2,580,598			
(1) 医業収益	1,958,409			
(うち修正医業収益)	1,914,464			
入院収益	1,336,667			
外来収益	534,114			
診療収入計	1,870,781			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	87,628			
(うち他会計負担金)	43,945			
(2) 医業外収益	622,189			
(うち国・都道府県補助金)	199,092			
(うち他会計補助・負担金)	210,024			
(うち長期前受金戻入)	145,450			
(うち資本費繰入収益)	55,757			
(3) 特別利益	39,545			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,453,729			
2 経常費用	2,451,134			
(1) 医業費用	2,310,289			
職員給与費	1,250,011	63.8	59.4	67.0
材料費	312,714	16.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	107,156	5.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	178,504	9.1	11.8	9.4
減価償却費	259,475	13.2	8.7	10.2
経費	482,958	24.7	22.1	28.8
(うち委託料)	259,954	13.3	11.7	13.2
研究研修費	4,419			
資産減耗費	712			
(2) 医業外費用	140,845			
(うち支払利息)	14,130	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,595			
損益	129,464			
純損益	166,414			
累積欠損金	439,318			
経常収支比率	105.3		103.3	104.5
医業収支比率	84.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.9		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,898,031
1 固定資産	4,024,883
(1) 有形固定資産	4,023,201
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	873,148
(1) 現金及び預金	497,638
(2) 未収金及び未収収益	370,452
(3) 貸倒引当金( )	5,961
(4) 貯蔵品	8,860
3 繰延資産	-
負債合計	4,724,380
1 固定負債	3,130,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,719,918
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	408,242
(7) 一ス債務	1,912
2 流動負債	324,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,544
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	78,310
(6) リ一ス債務	1,240
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	91,965
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,270,118
(1) 長期前受金	1,929,786
(2) 長期前受金収益化累計額( )	659,668
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	173,651
1 資本金	461,572
2 剰余金	-287,921
(1) 資本剰余金	151,397
(2) 利益剰余金	-439,318
負債・資本合計	4,898,031
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,529	253,969
資本勘定繰入	79,259	128,494
計	304,788	382,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	串本町				
病院名	くしもと町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,917 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	90	62.8	74.2	72.0
療養	24	72.1	57.6	54.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	114	65.0	69.1	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	16.9	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	14,959	
決算規模(千円)	11,895,206	
標準財政規模(千円)	6,267,135	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	70.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,189,177			
1 経常収益	2,189,177			
(1) 医業収益	1,588,268			
(うち修正医業収益)	1,548,580			
入院収益	918,652			
外来収益	562,946			
診療収入計	1,481,598			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,670			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	600,909			
(うち国・都道府県補助金)	119,618			
(うち他会計補助・負担金)	392,610			
(うち長期前受金戻入)	71,232			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,162,405			
2 経常費用	2,162,405			
(1) 医業費用	2,066,279			
職員給与費	1,082,499	68.2	59.4	67.0
材料費	314,980	19.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	104,772	6.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	186,918	11.8	11.8	9.4
減価償却費	163,033	10.3	8.7	10.2
経費	500,279	31.5	22.1	28.8
(うち委託料)	265,042	16.7	11.7	13.2
研究研修費	3,695			
資産減耗費	1,793			
(2) 医業外費用	96,126			
(うち支払利息)	17,897	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	26,772			
純損益	26,772			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		103.3	104.5
医業収支比率	76.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	81.2		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,174,711
1 固定資産	2,630,360
(1) 有形固定資産	2,619,465
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	9,100
2 流動資産	544,351
(1) 現金及び預金	183,184
(2) 未収金及び未収収益	382,105
(3) 貸倒引当金( )	43,454
(4) 貯蔵品	22,516
3 繰延資産	-
負債合計	2,473,788
1 固定負債	1,304,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,049,397
(2) その他の企業債	199,020
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	56,421
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	280,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,121
(2) その他の企業債	19,891
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,372
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	93,356
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	888,948
(1) 長期前受金	1,666,739
(2) 長期前受金収益化累計額( )	777,791
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	700,923
1 資本金	499,550
2 剰余金	201,373
(1) 資本剰余金	136,487
(2) 利益剰余金	64,886
負債・資本合計	3,174,711
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	191,015	432,298
資本勘定繰入	55,780	149,249
計	246,795	581,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院組合		
病院名	国保野上厚生総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,938 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	76.1	58.6	61.5
療養	-	43.6	84.9	78.6
結核	-	-	-	-
精神	100	86.6	86.6	91.8
感染症	-	-	-	-
計	199	75.4	75.2	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	13.3	19.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,437,552			
1 経常収益	3,436,003			
(1) 医業収益	2,272,905			
(うち修正医業収益)	2,146,257			
入院収益	1,625,935			
外来収益	434,169			
診療収入計	2,060,104			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	212,801			
(うち他会計負担金)	126,648			
(2) 医業外収益	1,163,098			
(うち国・都道府県補助金)	412,652			
(うち他会計補助・負担金)	586,478			
(うち長期前受金戻入)	37,349			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,549			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,123,267			
2 経常費用	3,122,307			
(1) 医業費用	2,774,098			
職員給与費	1,665,580	73.3	59.4	67.0
材料費	221,556	9.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	129,216	5.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	87,979	3.9	11.8	9.4
減価償却費	245,199	10.8	8.7	10.2
経費	632,282	27.8	22.1	28.8
(うち委託料)	328,659	14.5	11.7	13.2
研究研修費	3,330			
資産減耗費	6,151			
(2) 医業外費用	348,209			
(うち支払利息)	46,970	2.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	960			
損益	313,696			
純損益	314,285			
累積欠損金	2,253,382			
経常収支比率	110.0		103.3	104.5
医業収支比率	81.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.2		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,973,193
1 固定資産	4,207,489
(1) 有形固定資産	4,113,656
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	93,687
2 流動資産	765,704
(1) 現金及び預金	146,581
(2) 未収金及び未収収益	604,283
(3) 貸倒引当金( )	427
(4) 貯蔵品	10,764
3 繰延資産	-
負債合計	3,781,601
1 固定負債	2,768,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,529,087
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	89,009
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	613,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	342,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,190
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	120,949
(8) 未払金及び未払費用	120,949
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	399,757
(1) 長期前受金	695,397
(2) 長期前受金収益化累計額( )	295,640
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,191,592
1 資本金	3,333,470
2 剰余金	-2,141,878
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,141,878
負債・資本合計	4,973,193
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	713,126	713,126
資本勘定繰入	100,930	100,930
計	814,056	814,056

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	144,770	6.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合				
病院名	公立那賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	70.1	70.4	72.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	9.8
計	304	69.2	69.4	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	12.7	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,748,901			
1 経常収益	8,748,901			
(1) 医業収益	6,639,765			
(うち修正医業収益)	6,484,783			
入院収益	4,257,728			
外来収益	2,082,881			
診療収入計	6,340,609			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	299,156			
(うち他会計負担金)	154,982			
(2) 医業外収益	2,109,136			
(うち国・都道府県補助金)	1,351,739			
(うち他会計補助・負担金)	350,525			
(うち長期前受金戻入)	212,674			
(うち資本費繰入収益)	129,695			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,811,929			
2 経常費用	7,811,929			
(1) 医業費用	7,406,154			
職員給与費	3,467,158	52.2	59.4	59.0
材料費	1,763,241	26.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,046,642	15.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	708,333	10.7	11.8	11.2
減価償却費	584,642	8.8	8.7	8.6
経費	1,553,013	23.4	22.1	21.3
(うち委託料)	779,960	11.7	11.7	11.6
研究研修費	15,566			
資産減耗費	22,534			
(2) 医業外費用	405,775			
(うち支払利息)	76,749	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	936,972			
純損益	936,972			
累積欠損金	1,079,794			
経常収支比率	112.0		103.3	104.8
医業収支比率	89.7		85.5	87.0
修正医業収支比率	87.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.8		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	105.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,569,206
1 固定資産	7,540,830
(1) 有形固定資産	7,523,070
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	17,760
2 流動資産	5,028,376
(1) 現金及び預金	3,318,971
(2) 未収金及び未収収益	1,603,405
(3) 貸倒引当金( )	8,628
(4) 貯蔵品	114,628
3 繰延資産	-
負債合計	6,167,542
1 固定負債	3,231,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,231,030
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,478,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	858,458
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	202,596
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	402,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,458,085
(1) 長期前受金	3,503,683
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,045,598
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	6,401,664
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-837,505
(1) 資本剰余金	242,289
(2) 利益剰余金	-1,079,794
負債・資本合計	12,569,206
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	870,082	505,507
資本勘定繰入	679,840	521,561
計	1,549,922	1,027,068

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合				
病院名	ひだか病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,072 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	263	75.5	78.7	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	52.5	55.8	61.7
感染症	4	83.8	54.2	30.8
計	367	69.3	72.2	68.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	14.9	14.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,918,048			
1 経常収益	7,918,048			
(1) 医業収益	5,792,054			
(うち修正医業収益)	5,725,183			
入院収益	4,085,940			
外来収益	1,458,638			
診療収入計	5,544,578			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	247,476			
(うち他会計負担金)	66,871			
(2) 医業外収益	2,125,994			
(うち国・都道府県補助金)	1,155,641			
(うち他会計補助・負担金)	716,043			
(うち長期前受金戻入)	125,951			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,476,823			
2 経常費用	7,458,823			
(1) 医業費用	7,008,861			
職員給与費	3,723,765	64.3	59.4	59.0
材料費	1,483,715	25.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	839,988	14.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	576,297	9.9	11.8	11.2
減価償却費	594,798	10.3	8.7	8.6
経費	1,197,638	20.7	22.1	21.3
(うち委託料)	389,352	6.7	11.7	11.6
研究研修費	6,838			
資産減耗費	2,107			
(2) 医業外費用	449,962			
(うち支払利息)	57,340	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	18,000			
損益	459,225			
純損益	441,225			
累積欠損金	4,651,373			
経常収支比率	106.2		103.3	104.8
医業収支比率	82.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	95.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,480,381
1 固定資産	7,634,321
(1) 有形固定資産	7,349,972
(2) 無形固定資産	477
(3) 投資その他の資産	283,872
2 流動資産	2,846,060
(1) 現金及び預金	1,134,144
(2) 未収金及び未収収益	1,658,635
(3) 貸倒引当金( )	1,197
(4) 貯蔵品	54,178
3 繰延資産	-
負債合計	7,228,272
1 固定負債	4,248,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,239,816
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	8,652
2 流動負債	1,334,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	504,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	286,804
(6) リ一ス債務	44,462
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	471,171
(9) 前受金及び前受収益	12,400
3 繰延収益	1,645,801
(1) 長期前受金	2,883,417
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,237,616
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,252,109
1 資本金	7,019,217
2 剰余金	-3,767,108
(1) 資本剰余金	884,265
(2) 利益剰余金	-4,651,373
負債・資本合計	10,480,381
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	758,664	782,914
資本勘定繰入	202,630	262,299
計	961,294	1,045,213

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	41,959 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	352	74.4	70.6	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	49.6
感染症	4	54.0	34.8	61.9
計	356	74.2	70.2	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.1	12.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,312,790			
1 経常収益	12,312,790			
(1) 医業収益	10,199,051			
(うち修正医業収益)	10,133,769			
入院収益	6,086,070			
外来収益	3,667,383			
診療収入計	9,753,453			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	445,598			
(うち他会計負担金)	65,282			
(2) 医業外収益	2,113,739			
(うち国・都道府県補助金)	1,329,213			
(うち他会計補助・負担金)	369,174			
(うち長期前受金戻入)	247,696			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,684,479			
2 経常費用	11,684,479			
(1) 医業費用	10,953,499			
職員給与費	5,233,601	51.3	59.4	59.0
材料費	3,481,181	34.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,997,813	19.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,482,591	14.5	11.8	11.2
減価償却費	455,079	4.5	8.7	8.6
経費	1,717,321	16.8	22.1	21.3
(うち委託料)	835,937	8.2	11.7	11.6
研究研修費	57,603			
資産減耗費	8,714			
(2) 医業外費用	730,980			
(うち支払利息)	47,728	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	628,311			
純損益	628,311			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.4		103.3	104.8
医業収支比率	93.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	92.5		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,270,214
1 固定資産	10,205,698
(1) 有形固定資産	10,103,534
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	95,789
2 流動資産	6,064,516
(1) 現金及び預金	3,482,347
(2) 未収金及び未収収益	2,497,240
(3) 貸倒引当金( )	6,723
(4) 貯蔵品	91,652
3 繰延資産	-
負債合計	8,247,241
1 固定負債	4,183,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,051,626
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	132,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,254,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	844,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	365,648
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	996,085
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,809,109
(1) 長期前受金	7,169,796
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,360,687
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	8,022,973
1 資本金	3,029,463
2 剰余金	4,993,510
(1) 資本剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	4,616,340
負債・資本合計	16,270,214
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	395,166	434,456
資本勘定繰入	448,407	515,145
計	843,573	949,601

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合		
病院名	紀南こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,421 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	46.8	47.6	-
感染症	-	-	-	-
計	198	46.8	47.6	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,428,487			
1 経常収益	1,428,487			
(1) 医業収益	985,341			
(うち修正医業収益)	985,341			
入院収益	507,749			
外来収益	469,232			
診療収入計	976,981			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	8,360			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	443,146			
(うち国・都道府県補助金)	1,106			
(うち他会計補助・負担金)	392,255			
(うち長期前受金戻入)	41,980			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,423,538			
2 経常費用	1,423,538			
(1) 医業費用	1,379,202			
職員給与費	821,708	83.4	59.4	67.0
材料費	260,841	26.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	253,280	25.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,297	0.7	11.8	9.4
減価償却費	49,973	5.1	8.7	10.2
経費	243,945	24.8	22.1	28.8
(うち委託料)	102,545	10.4	11.7	13.2
研究研修費	2,514			
資産減耗費	221			
(2) 医業外費用	44,336			
(うち支払利息)	25	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	4,949			
純損益	4,949			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		103.3	104.5
医業収支比率	71.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	71.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	39.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	72.8		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,270,214
1 固定資産	10,205,698
(1) 有形固定資産	10,103,534
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	95,789
2 流動資産	6,064,516
(1) 現金及び預金	3,482,347
(2) 未収金及び未収収益	2,497,240
(3) 貸倒引当金( )	6,723
(4) 貯蔵品	91,652
3 繰延資産	-
負債合計	8,247,241
1 固定負債	4,183,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,051,626
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	132,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,254,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	844,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	365,648
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	996,085
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,809,109
(1) 長期前受金	7,169,796
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,360,687
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	8,022,973
1 資本金	3,029,463
2 剰余金	4,993,510
(1) 資本金剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	4,616,340
負債・資本合計	16,270,214
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	392,255	392,255
資本勘定繰入	11,498	11,498
計	403,753	403,753

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。